

1) 会員管理

H29年度会員数(H30年3月31日現在)

会員種別	28年度末会員数 (H29.3.31)	29年度入会者数	29年度退会者数	29年度末会員数
個人会員	587	71	43	606
学生会員	193	147	101	216
海外会員*OECD	3	0	0	3
海外会員*OECD以外	1	0	0	1
法人会員	6	0	0	6
名誉会員	14			13
計	804	218	144	845

* 上記集計はメール・郵便物不達者を除いた数。個人会員で未納3年以上を除いた数。

* 学生会員1名はH29、30年度休会。2名がH30年度より個人会員へ

* 学生会員216名は、資格継続確認に未回答の186名を含む(回答:30名継続、83名継続なし)

* 伊熊理事(H27、H28年度会長)、鈴木顧問(H24～26年度会長)は個人会員としてカウント

* 平成30年度の会費請求並びに会員証は、全て送付済み

平成29年度事業報告

年度別会員数

年度	個人会員	学生会員	法人会員	海外会員	名誉会員	計	会員に準 ず (非請求)	会長	副会長		
H29 (H30.03現在)	606	216	6	4	13	845		高原 淳	東 雄一	森 利之	細野秀雄
H28 (H29.03現在)	587	193	6	4	14	804		伊熊泰郎	東 雄一	高原 淳	森 利之
H27 (H28.03現在)	579	167	7	4	15	772		伊熊泰郎	東 雄一	高原 淳	森 利之
H26 (H27.03現在)	624	428	6	3	11	1072	11	鈴木淳史	伊熊泰郎	東 雄一	森 利之
H25 (H26.03現在)	598	369	6	4	11	988	11	鈴木淳史	伊熊泰郎	東 雄一	森 利之
H24 (H25.03現在)	647	346	6	3		1002	11	鈴木淳史	伊熊泰郎	東 雄一	森 利之
H23 (H24.03現在)	676	337	6	4		1023	11	岸本直樹	鈴木淳史	澤井伸一	伊熊泰郎
H22 (H23.03現在)	543	73	7	2	6	631	11	岸本直樹	鈴木淳史	澤井伸一	伊熊泰郎

会員数の算出は年度末時点の件数。

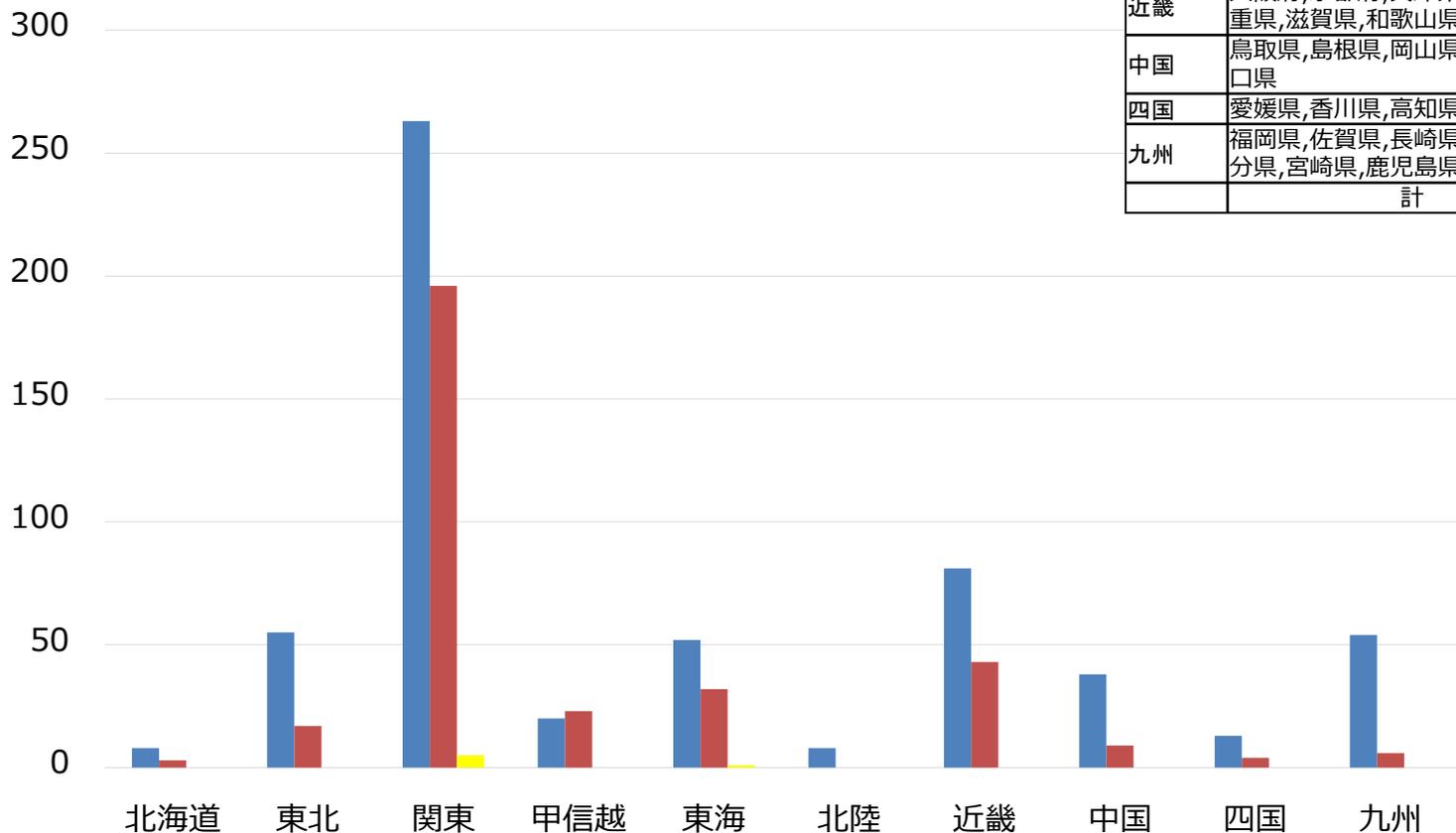
H23、24年度は個人会員に顧問(非請求含む)、常任顧問(非請求含む)が含まれている。

平成29年度事業報告

地域別会員数(H30年3月31日現在)

地域別会員数

■ 個人会員 ■ 学生会員 ■ 法人会員



地域別		個人	学生	法人	総数
北海道	北海道	8	4		12
東北	青森県,岩手県,宮城県,秋田県,山形県,福島県	62	12		74
関東	茨城県,栃木県,群馬県,埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県	261	117	5	383
甲信越	山梨県,長野県,新潟県	22	19		41
東海	愛知県,岐阜県,静岡県	51	22	1	74
北陸	石川県,富山県,福井県	9	3		12
近畿	大阪府,京都府,兵庫県,奈良県,三重県,滋賀県,和歌山県	80	21		101
中国	鳥取県,島根県,岡山県,広島県,山口県	39	10		49
四国	愛媛県,香川県,高知県,徳島県	13	3		16
九州	福岡県,佐賀県,長崎県,熊本県,大分県,宮崎県,鹿児島県,沖縄県	61	5		66
	計	606	216	6	828

2) 総会・定例理事会・臨時理事会

1. 総会

H29年6月3日(土) 15:00-16:00 神奈川工科大学アクティブラーニング横浜

2. 定例理事会

H29年6月3日(土) 16:00-17:00 神奈川工科大学アクティブラーニング横浜(第1回)

H30年3月29日(木) 14:30-16:30 横浜情報文化センター 大会議室(第2回)

3. 臨時理事会

H29年11月13日(月) 15:00-17:00 日本大学駿河台校舎1号館123室(第1回)

H29年12月5日(火) 12:00-13:00 横浜市開港記念会館4号室 (年次大会)(第2回)

H30年6月15日(金) 15:00-15:15 万国橋会議センター404号室(第3回)

3) 第27回日本MRS年次大会報告

テーマ: グローバル成長を支えるマテリアルズイノベーション

主催: 日本MRS 後援: 横浜市

会期: H29年12月5日(火)～7日(木)

会場: 横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター、万国橋会議センター

シンポジウム数: 14シンポジウム(内、国際シンポジウム2、特別シンポ1)

発表件数: 582件(口頭 307件、ポスター275件)

参加者数: 714名(内、海外から7名)

4) 日本MRS講演会 2017年度実施せず

5)横浜市次世代育成事業「第4回日本MRS大実験室」報告

H29年12月10日(日)13:00-16:00 横浜技能文化会館 多目的ホール2

参加者: 83名 (小5_60名、小6_14名、中1_1名、中2_4名、中3_3名、見学1名)

講演:「皆で考えてみよう”宇宙船地球号”を取り巻く環境！」

講師:加納 誠先生(地球環境緑蔭塾・東京理科大学)

テーマ:必ず戻る”持ち帰りブーメラン”の工作・実験

担当:岡田穰謙先生・高木博史先生(地球環境緑蔭塾)

テーマ:光の正体を探ってみよう！ 工作・実験

担当:岡田穰謙先生・高木博史先生(地球環境緑蔭塾)

平成29年度事業報告

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

連携推進委員会委員長 森 利之

第2回 全国高専生サミット 内優秀発表審査にゲスト審査員派遣

場所：沖縄工業高等専門学校（沖縄県名護市辺野古905）

開催日：2017年9月13日（水）から15日（金）

ゲスト審査員として、第1回連携打ち合わせからの経緯をよくご存じの伊熊先生に、MRS-Jの代表として出席いただき、2件の優秀発表選定にご尽力いただいた。優秀発表者は、その研究内容を、第27回日本MRS年次大会に招待し、年次大会高専シンポジウムにおいて、学生による口頭発表により研究紹介を行うこととした。

第27回 日本MRS年次大会 高専シンポジウム開催

連携推進委員会メンバーを中心に、高専シンポジウムを企画・運営。

口頭発表：34件、ポスター発表：19件 合計：53件 の研究発表を行った。

（奨励賞2件をMRS-J表彰委員会に推薦。承認された。）

平成29年度 科学フェスタ（鶴岡高専2017/8/5，来客数781人）での大実験室スタッフによる広報活動実施。鶴岡高専 伊藤助教による燃料電池発電試験実演と加納先生によるブーメラン作製と実演などを通して、初等中等教育むけMRS-J活動の紹介を行った。

上記活動を通して、**平成29年度新たに、+17名の高専教員**のみなさまにMRS-Jに**正会員として入会**をしていただいた。（合計：高専教員正会員数 51名）

委員会活動を通して、**会費収入：¥ 136,000-** **増** に貢献した。

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

平成29年度は、委員会開設初年度であったため、予算請求をしておらず、第2回 全国高専生サミット 内優秀発表審査にゲスト審査員派遣は、伊熊先生ご自身の研究費で出張していただき、優秀発表者年次大会の招待経費は、年次大会高専シンポジウム助成金をもとに、この費用を捻出しようところみだ。

しかしながら、どうしても、優秀発表者年次大会の招待経費すべてをカバーすることができずに、**高専学生旅費の不足分(¥33,060-)**が生じた。

また、平成29年度 科学フェスタ(鶴岡高専)での大実験室スタッフによる広報活動実施経費(加納先生旅費・謝金(¥18,000-), 岡田先生旅費・謝金(¥18,000-), アルバイト1名(¥7,000-)の経費(合計: **¥43,000**)も、MRS-J本体経費からの支出をお願いしたことから、赤字となった。

この経費不足分を、平成29年度の支出とした。

平成29年度事業報告

ニュース編集委員会委員長 岩田展幸

29-02号 目次

● 第27回日本MRS年次大会 開催案内

- ・ 2017年12月5日(火)～7日(木) 横浜市開港記念会館、横浜情報文化センターほか
- ・ シンポジウム代表オーガナイザーおよびトピックス情報
- ・ シンポジウムオーガナイザー研究施設・研究トピックス特集

● ご案内

- ・ 日本MRS協賛第26回無機リン化学討論会「千葉大会」講演
- ・ 日本MRS共催平成29年度日本学術会議公開シンポジウム
- ・ 日本MRS協賛10th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TOEO-10)

29-03号 目次

● やあ こんにちは 「MRS-Jの会長に就任して」

九州大学先端物質化学研究所 教授 高原 淳

● 研究所紹介「東京理科大学総合研究院太陽光発電技術研究部門」

東京理科大学総合研究院 太陽光発電技術研究部門 准教授 杉山 睦

● 研究トピックス

「多結晶酸化亜鉛薄膜における非化学量論比制御とキャリア輸送設計」

高知県公立大学法人高知工科大学総合研究所マテリアルデザインセンターセンター長 山本 哲也

● ご案内

- ・ 日本MRS組織・役員等
- ・ 第27回日本MRS年次大会
- ・ IUMRS-ICAM2017
- ・ IUMRS International Conference in Asia (IUMRS-ICA2017)
- ・ International Conference on Electronics Materials 2018 (IUMRS-ICEM 2018)
- ・ 一般参加者募集平成29年度技術研修プログラム
- ・ 新刊紹介

● To the Overseas Members of MRS-J

平成29年度事業報告

29-04号 目次

- やあ こんにちは 「21世紀材料開発の視点」
東北大学 名誉教授・公益財団法人電磁材料研究所 相談役 増本健
- 研究所紹介 「東京ロボット産業支援プラザ」
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センタープロジェクト事業推進部
プロジェクト企画室副主任 入川 涼
- 研究トピックス 「熱フィラメントCVD法によるメカニカルシール用 多結晶ダイヤモンド膜の成長速度と摩擦摩耗特性」 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター技術経営支援部交流連携室 上席研究員 長坂 浩志
- ICMAT 2017報告 日本MRS前会長・伊熊泰郎
- IUMRS-ICAM 2017報告 IUMRS-ICAM 2017 報告—Plenary Lectures—
- MRS-J報告 盛況裏に終わった2017年度MRS-J大実験室
- ご案内
 - ・ 第27回日本MRS年次大会、
 - ・ IUMRS 報告 IUMRS-SŌMIYA Award 2017 発表、
 - ・ IUMRS 関連、
 - ・ 新刊紹介
- To the Overseas Members of MRS-J

30-01号 目次

- やあ こんにちは 「基礎研究に人と予算を！」
株式会社リガク 顧問 虎谷 秀穂
- 第27回日本MRS年次大会開催報告
- 国際会議報告 IUMRS-ICAM 2017 Kyoto
- ご案内
 - ・ 第28回日本MRS年次大会2018年、
 - ・ 協賛・共催、
 - ・ 新刊紹介
- To the Overseas Members of MRS-J

編集委員会

編集委員会委員長 有沢 俊一

Transactions of the Materials Research Society of Japan 出版状況

2017年 4月号 (42-2) 10報

2017年 6月号 (42-3) 9報

2017年 8月号 (42-4) 5報

2017年10月号 (42-5) 4報

2017年12月号 (42-6) 6報

2018年 2月号 (43-1) 4報

計38報 (すべてReviewではない原著論文)

2017年分の論文をまとめたVolume Archive CDを会員向けに送付

(2017年分よりCD送付は年1回に改定)

2018年に入ってからからの論文投稿数(2018.3.31現在)

48本

平成29年度事業報告

広報・情報委員会

広報・情報委員会委員長 青木学聡

H29年度会員向け情報配信履歴(平成30年3月31日現在)

	配信日	件名	配信先
1	6月2日	日本MRS 2017年第3号をJ-STAGEにアップロードしました	
2	6月30日	IUMRS-ICA2017開催についてのお知らせ	
3	8月4日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
4	10月2日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
5	12月1日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
6	1月12日	日本MRS学生会員の皆様へ次年度継続の確認について	学生
7	1月29日	日本MRS会員資格継続確認について	個人未納3年
8	1月29日	日本MRS会費納入のお願いについて	個人未納者
9	2月1日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
10			

* 配信先欄: 全会員へ配信している場合は未記入

平成29年度事業報告

協賛依頼一覧(平成30年3月31日現在)

MRS-J_HP掲載

	掲載方法	会合名	主催団体	開催日	開催場所	備考
1	HP	初心者のための電気化学測定法-基礎編	電気化学会普及委員会	H29年5月18日	東京理科大学神楽坂キャンパス1号館記念講堂	https://www1.mrs-j.org/event/doc/20170518seminar.pdf
2	HP	初心者のための電気化学測定法-実習編	電気化学会普及委員会	H29年9月4日～9月5日	東京農工大学小金井キャンパス	https://www1.mrs-j.org/event/doc/20170904_seminner.pdf
3	HP	日本中性子科学会第17回年会	日本中性子科学会	H29年12月2日～12月3日	福岡大学七隈キャンパス	http://www.jsns.net/jp/html/nenkai/index.html
4	HP	第27回液晶国際会議(ILCC2018)	日本学術会議(予定)、一般社団法人日本液晶学会、国際液晶学会	H30年7月22日～7月27日	国立京都国際会館	http://ilcc2018.org
5	HP	炭素材料学会1月セミナー「伝導材料としての炭素材料～IoT社会を拓くユニークなカーボン材料」	炭素材料学会	H30年1月26日	日本教育会館	http://www.tanso.org/content/s/event/seminar/january_2018.html
6	HP	第26回無機リン化学討論会「千葉大会」	日本無機リン化学会	H29年8月24日～8月25日	千葉工業大学(津田沼キャンパス)	http://www.jaipc.jp/?p=720
7	HP	金属学会セミナー 材料の力学特性向上を目指して—最近の実験・計算手法の進展に基づく本質的な理解—	公益社団法人 日本金属学会	H30年3月6日	東京工業大学田町キャンパス国際会議室	http://jim.or.jp/EVENTS/seminar/semi_027.html
8	HP	ナノ学会第16回大会	ナノ学会	H30年5月10日～12日	東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル 武田ホール 5F	http://mtg-officepolaris.com/nano16/
9	HP	第16回ナノテクノロジー総合シンポジウム(JAPAN NANO 2018)	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 国立研究開発法人物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター	H30年2月16日	東京国際展示場(東京ビッグサイト) 会議棟1階レセプションホール	http://nanonet.mext.go.jp/japannano/2018/
10	HP	12th International Conference on Coatings on Glass and Plastics (ICCG12)	International Council for Coatings on Glass e. V. (ICCG), Fraunhofer-Institut für Silicatforschung ISC, and Vincentz Network GmbH & Co. KG	H30年6月11日～15日	Congress Centrum Würzburg (CCW) Kranenkai 34, 97070 Würzburg, Deutschland	https://www.iccg12.de/

平成29年度事業報告

日本MRSニュース掲載

11	Vol.29 No.2	第26回無機リン化学討論会「千葉大会」	日本無機リン化学会	H29年8月24日～8月25日	千葉工業大学(津田沼キャンパス)	http://www.jaipc.jp/?p=720
12	Vol.29 No.2	平成29年度日本学術会議公開シンポジウム	日本学術会議	H29年4月22日	日本学術会議講堂	https://www1.mrs-j.org/event/doc/20170422doc.pdf
13	Vol.29 No.2	10th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TOEO-10)	日本学術振興会 透明酸化物光・電子材料第166委員会	H29年7月3日～7月5日	International Conference Center, Waseda University	http://conf.msl.titech.ac.jp/TOEO10.html
14	Vol.30 No.1	第17回 GREENシンポジウム エネルギー関連材料の開発を加速する新手法～MI,シミュレーションを中心として	国立研究開発法人物質・材料研究機構	H30年1月25日	一橋講堂(学術総合センター2階)	http://www.nims.go.jp/GREEN/event/2018/20171208.html
15	Vol.30 No.1	炭素材料学会1月セミナー「伝導材料としての炭素材料～IoT社会を拓くユニークなカーボン材料」	炭素材料学会	H30年1月26日	日本教育会館	http://www.tanso.org/content/s/event/seminar/january_2018.html
16	Vol.30 No.1	第16回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2018)	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 国立研究開発法人物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター	H30年2月16日	東京国際展示場(東京ビッグサイト) 会議棟1階レセプションホール	http://nanonet.mext.go.jp/japannano/2018/
17	Vol.30 No.1	金属学会セミナー 材料の力学特性向上を目指して—最近の実験・計算手法の進展に基づく本質的な理解—	公益社団法人 日本金属学会	H30年3月6日	東京工業大学田町キャンパス国際会議室	http://jim.or.jp/EVENTS/seminar/semi_027.html
18	Vol.30 No.1	ナノ学会第16回大会	ナノ学会	H30年5月10日～12日	東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル 武田ホール 5F	http://mtg-officepolaris.com/nano16/
19	Vol.30 No.1	12th International Conference on Coatings on Glass and Plastics (ICCG12)	International Council for Coatings on Glass e. V. (ICCG), Fraunhofer-Institut für Silicatforschung ISC, and Vincentz Network GmbH & Co. KG	H30年6月11日～15日	Congress Centrum Würzburg (CCW) Kranenkai 34, 97070 Würzburg, Deutschland	https://www.iccg12.de/
20	Vol.30 No.1	第27回液晶国際会議 (ILCC2018)	日本学術会議(予定)、一般社団法人日本液晶学会、国際液晶学会	H30年7月22日～7月27日	国立京都国際会館	http://ilcc2018.org

平成29年度事業報告

協賛依頼以外の掲載

	掲載方法	会合名	主催団体	開催日	開催場所	備考
21	HP	平成29年度「きぼう」利用フィジビリティスタディ(FS)テーマ募集	JAXA	H29年9月30日締め切り		http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/application/2017_kibo-utilization-theme.html
22	HP	ポストク研究員(任期制)の公募	国立研究開発法人物質・材料研究機構	応募締切 適任者が見つかり次第終了		http://www.nims.go.jp/research/group/electron-theory/employment/hdfqf1000009ar94.html
23	HP	第17回 GREENシンポジウム エネルギー関連材料の開発を加速する新手法 ～MI,シミュレーションを中心として	国立研究開発法人物質・材料研究機構	H30年1月25日	一橋講堂(学術総合センター2階)	http://www.nims.go.jp/GREEN/event/2018/20171208.html

平成29年度事業報告

第27回日本MRS年次大会奨励賞受賞者一覧(34名)

表彰委員会副委員長 手嶋勝弥

sympo	name	affiliation	papertitle
A	富田 健太郎	九州大学	Diagnostics of extreme-ultraviolet (EUV) light source plasmas for next generation semiconductor lithography
A	山崎 匠	東京工業大学機械系	Hydrogen enrichment of biogas by nonthermal plasma-mediated catalysis
B	高見 剛	京都大学	Crystal structure, transport properties, and their relationship to spin-state crossover for cobalt oxides
C	熊澤 里菜	東京理科大学大学院総合化学研究科	Creation of Highly Activity Water-Splitting Photocatalyst by Cr ₂ O ₃ Coating on Fine Gold-Cluster Cocatalyst Using SMSI Effect
C	高橋 崇典	鶴岡工業高等専門学校	Effects of Sputtered Tantalum Oxide-Based Gate Insulators on Amorphous InGaZnO Thin-Film Transistor
D	渡辺 健	大阪大学大学院工学研究科	Temperature Dependence of Carrier Mobility in Non-peripherally Octahexyl-substituted Phthalocyanine-copper(II) Complex
E	三浦 樹生	東京理科大学大学院理工学研究科 電気工学専攻	The quenching effects for depolarization temperature and crystal structure of Li-substituted (Bi _{0.5} Na _{0.5})TiO ₃ ceramics
E	神戸 智樹	東京理科大学	Study on slow light in tunable 2-D Ferroelectric Photonic Crystals consisting of PLZT
F	青柳 佑海人	岡山大学理学部	Formation of Nano-Carbon Structure with Gas Plasma in Micro-Wave Oven
G	金 娟秀	東京大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	The helical shaped self-oscillating gel showing large and uniaxial deformation
H	玉手 亮多	横浜国立大学大学院工学研究院	Self-healing ion gels based on hydrogen bonding of jammed block copolymer micelles
H	南保 仁汰	新潟大学大学院自然科学研究科/ ALCA-JST	Magnetic-Field Sensitivity for Magnetic Elastomers Containing ZnO Nonmagnetic Particles
H	呉羽 拓真	信州大学繊維学部	Polymeric Microspheres for the Separation of Halogen Compounds from Aqueous Solution
H	土屋 歩	沼津高専専攻科	Macroscopic Single Arrangement of Perpendicular Cylinder Structure using Orientation Transition of Liquid Crystal
H	室田 大地	宇都宮大学大学院工学研究科	Extraction of Antibacterial Prodigiosin from Gram-negative <i>Serratia marcescens</i> Using Span Niosome
I	渡邊 拓巳	信州大学大学院 総合工学系研究科	Surfactant-Free Seeded Emulsion Polymerization of Styrene in the Presence of Water-Swollen Microgels
I	石原 量	東京理科大学材料工学科	Sensitive Extracellular Vesicle Detection on a Power-Free Microchip Functionalized by Utilizing UV Graft Polymerization

平成29年度事業報告

sympo	name	affiliation	papertitle
I	広重 聖奈	信州大繊維	Formation of Tough Films by Evaporation of Water from Dispersions of Elastomer microspheres Crosslinked with Rotaxane Structure
I	深谷 結花	東京工業大学物質理工学院	Hydrogel Formation based on Kinetic Control of Enzymatically Synthesized Cellulose Oligomers
I	猪股 祥子	東京理科大学基礎工学研究科 材料工学専攻	Fabrication of a Surface-functionalized Power-free Microchip Utilizing UV graft polymerization for MicroRNA Detection
I	坂巻 達記	九州大学工学府	Specific Ion Effects on Hydration States and Oil Repellency in Poly(sulfobetaine) Brushes
J	大久保 喬平	東京大学	Nano-designed interface toward single exosome analysis
J	中村 浩貴	慶應義塾大学理工学部	Hybrid surface of hydrophobic nanoparticles and hygroscopic polymers for effective anti-icing applications
K	小松 啓志	長岡技術科学大学	Adsorption and separation behaviors of CO ₂ and CH ₄ gases on nanoporous carbon fabricated from rice husk
K	松原 綜一郎	中京大学大学院	Preparation of Interlocking Block Containing Chaff Charcoal for Environmental Preservation and Evaluation of Metal Ion Adsorption Capacity in Aqueous Solution
L	都留 智仁	(国)日本原子力研究開発機構	First-principles and experimental study on interfacial fracture in Mg alloys
L	藤原 弘樹	大阪大学大学院工学研究科 知能・機能創成工学専攻	Computational Experiments of δ - γ phase nucleation upon δ - γ Massive like Transformation in Carbon Steel by Phase Field Modeling: A Possible Explanation for Experimental Evidences
L	林 拓実	名古屋工業大学大学院工学研究科	First-principles investigation of migration of clustering noble gas atoms in bcc W
M	島 大佑	東京理科大学大学院総合化学研究科	High Resolution Separation of Hydrophilic Gold Clusters with Ion pair or Hydrophilic Interaction Chromatography.
M	林 瑠衣	東京理科大学大学院理学研究科	Improvement of water-splitting photocatalytic activity of BaLa ₄ Ti ₄ O ₁₅ photocatalyst by precise loading of bimetallic cluster
M	山田 翔太	名古屋大学 未来材料・システム研究所	Preparation of Red Blood Cell-like Particles with Ability to Avoid Accumulation in the Lung and Spleen for the Treatment of Liver Fibrosis
M	大久保 光洋	金沢大学大学院自然科学研究科	Helical Polyisocyanides for Use as Circularly Polarized Luminescence Materials
S	小高 幹矢	長岡技術科学大学	Control of Self-Powdering Phenomena in Ferroelastic β^1 -Gd ₂ (MoO ₄) ₃ crystallization in Boro-Tellurite Glasses
S	伊藤 滋啓	鶴岡工業高等専門学校/ 物質・材料研究機構	Formation of the anode reaction active site by addition of mixed conducting brownmillerite promoter

平成29年度事業報告

IUMRS 対応委員会 1

IUMRS-Somiya Award 2017 選考と授賞式の実施

IUMRS-ICAM2017(京都)開催時に、MRS-Jが中心となり運営しているIUMRS—Somiya Award 2017の選考結果の発表と授賞式を開催。

応募チーム 全4チーム (リーダー:日本2、米国1、豪州1)

過去に受賞された2名の先生にreviewを依頼。

書類選考の結果、豪州からのチームが受賞。

授賞式を IUMRS-ICAM2017 会場にて実施。

IUMRS対応委員会委員長 森 利之



IUMRS-ICAM 2017内におけるE-MRS/MRS-J ジョイントシンポジウム、A-MRS/MRS-J ジョイントシンポジウム開催

6シンポジウム(A-3、A-4、A-5、B-1、C-1、及びC-4)が、第3回のMRS-J/ E-MRSバイラテラル・シンポジウムの副題のもと、4シンポジウム(A-6、A-7、A-8及びC-7)に、第1回のMRS-J/ A-MRSバイラテラル・シンポジウムの副題のもと、連携強化の活動にご協力をいただいた。

A-6, A-7, A-8, C-7のために



President, Australian Academy of Science

ICYRAM開催(インド・バンガロール)への協力

松下先生(副委員長)を中心に、参加者を募り、総勢11名の国内からの参加者をえた。

IUMRS-ICAM2017開催の年でもあり、なるべく支出を抑制する立場をとったため

インドバンガロール開催の国際会議協力への支援はないまま、11名もの参加

をいただけたことに、ただただ感謝。次回から、支援を行うべく予算化を行う。



IUMRS 対応委員会 2

IUMRS-Somiya Award 2017 受賞者への賞金

当日式典に出席した受賞者2名への賞金： US\$ 500*2 = US\$ 1,000 (実質:112,550 円)
賞状、受賞記念の盾 購入経費： 賞状、たて 5名分 57,510円

以上、IUMRS国際会議口より支出していただきました。

IUMRS メンバー会費

IUMRS-ICAM2017関連参照

E-MRS/MRS-J 連携活動

平成29年度までの過去3年度は、すべて手弁当で連携活動を実施。
平成30年度以降は、予算の計上を行い、活動の一層の活発化をはかる。

ICYRAM開催への協力

平成29年度は、参加社各位の研究費で協力活動を実施。
平成30年度以降は、予算の計上を行い、ICYRAM活動への一層の協力をはかると共に
日本開催(5年後)を目指す。

平成29年度事業報告

IUMRS-ICAM 2017報告

- 1. 開催日と会場：2017年8月27日(日)ー
9月1日(金) 京都大学吉田キャンパス
- 2. 主催 日本MRS
- 3. 協賛団体：38学協会
- 4. 協賛団体(シンポジウム):21企業
- 5. 助成団体：京都文化交流コンベンション
ビューロー(京都市)、池谷科学技術振興財団
- 6. 企業展示 15社
- 7. 参加登録者数 1,806名
- 8. 参加登録費

国または地域	人数	割合
Japan	1105	61.2
East Asia	377	20.9
South East and South Asia	50	2.8
Middle East and Africa	10	0.6
Oceania	20	1.1
Europe	162	9.0
N. & S. America	52	2.9
unknown	30	1.7
Total	1806	100

科目	Early Bird Before 20th June 2017	単価
早期 MRS-J会員/IUMRS会員	Member of MRS-Japan or IUMRS	50,000
早期 協賛学会会員	Member of Academic Societies in Cooperation	60,000
早期 非会員	Non-Member	65,000
早期 MRS-J 学生会員/IUMRS学生会員	Student Member of MRS-Japan or IUMRS	30,000
早期 協賛学会学生会員	Student Member of Academic Societies in Cooperation	35,000
早期 学生非会員	Student Non-Member	40,000
	After 21st June 2017	
普通 MRS-J会員/IUMRS会員	Member of MRS-Japan or IUMRS	60,000
普通 協賛学会会員	Member of Academic Societies in Cooperation	70,000
普通 非会員	Non-Member	75,000
普通 MRS-J 学生会員/IUMRS学生会員	Student Member of MRS-Japan or IUMRS	40,000
普通 協賛学会学生会員	Student Member of Academic Societies in Cooperation	45,000
普通 学生非会員	Student Non-Member	50,000

平成29年度事業報告

- 9. 懇親会 : 日時 : 2017年8月30日(水)19:00-21:00 場所 : ウェスティン都ホテル京都
- 10. Symposium & Forum
 - A: Advanced materials for energy and environmental issues: 9 symposia
 - B: Advanced science and technologies for design of advanced materials and interfaces: 7 symposia
 - C: Nano-materials science and technologies: 7 symposia
 - D. Unique technologies for new materials science and technologies: 7 symposia
 - F-1 Current Issues and Prospects in Materials Research
 - F-2 Advanced Science and Technologies of Materials for Conservation of Cultural Resources
- 11. Awards
 - Young Scientist Awards in IUMRS-ICAM 2017(Wiley Awardを含む): 7名
 - Awards for Encouragement of Research in IUMRS-ICAM 2017: 72名
 - ACS Omega Award in IUMRS-ICAM 2017: 6名
 - IUMRS-Somiya Award: Australian MRS を代表とする1チーム5名
 -

平成29年度事業報告

12. 収支報告書

IUMRS-ICAM 2017収支報告書

平成28年8月1日～平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算	実績	実績-予算
1.収益の部			
参加費収入	79,375,000	82,620,014	3,245,014
懇親会費収入	2,400,000	2,064,000	▲ 336,000
ツアー代收り	0	474,000	474,000
冊子等売上収入(USB)	0	4,000	4,000
展示料収入	1,500,000	886,680	▲ 613,320
協賛金収入	500,000	2,042,500	1,542,500
助成金収入	0	2,905,645	2,905,645
受取利息	0	762	762
雑収入	0	1,100	1,100
収益計	83,775,000	90,998,701	7,223,701

(単位:円)

勘定科目	予算	実績	実績-予算
2.費用の部			
給与手当	2,500,000	2,387,732	▲ 112,268
雑給	2,597,000	2,164,931	▲ 432,069
消耗品費	1,200,000	1,168,659	▲ 31,341
租税公課(印紙代)	0	1,050	1,050
旅費交通費	5,000,000	2,106,121	▲ 2,893,879
通信費	600,000	96,704	▲ 503,296
支払手数料	5,000,000	2,651,063	▲ 2,348,937
会議費	24,090,000	12,260,691	▲ 11,829,309
システム構築費	3,430,000	4,569,858	1,139,858
印刷製本費	8,040,000	4,748,490	▲ 3,291,510
謝金	0	3,553,565	3,553,565
IUMRS協力金	240,000	0	▲ 240,000
会場費	8,900,000	7,481,082	▲ 1,418,918
シンポジウム補助金	18,000,000	8,877,596	▲ 9,122,404
IUMRS関連費	4,178,000	2,467,574	▲ 1,710,426
費用計	83,775,000	54,535,116	▲ 29,239,884
収益-費用	0	36,463,585	